

米子工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	基礎英語演習Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号	0046		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	電気情報工学科		対象学年		3		
開設期	通年		週時間数		1		
教科書/教材	Vision Quest English Grammar 24 (啓林館) 、ワークブック						
担当教員	赤山 幸太郎						
到達目標							
1) 学んだ単語、フレーズを覚え、文法のルールを再確認して問題演習などに生かせる。 2) 学んだ単語、フレーズ、文法の知識を生かして、英語を読んだり聞いたりできる。 3) 学んだ単語、フレーズ、文法の知識を使って、英語を書いたり話したりできる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
		問題演習で 8 割以上正答できる。		問題演習で 6 割以上正答できる。		問題演習で 6 割以下しか正答できない。	
		英文の内容が 8 割以上理解できる。		英文の内容が 6 割以上理解できる。		英文の内容が 6 割以下しか理解できない。	
		学んだ単語、フレーズ、文法を 8 割以上正しく使える。		学んだ単語、フレーズ、文法を 6 割以上正しく使える。		学んだ単語、フレーズ、文法を正しく使える割合が 6 割以下である。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 E							
教育方法等							
概要		社会とかかわるためのコミュニケーション能力を養う科目である。					
授業の進め方・方法		テキストに沿って授業を進める。					
注意点		授業に関する質問は適宜受けつける。授業への積極的な取組を評価する。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	修学ガイダンス		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		2週	Lesson 23 仮定法1		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		3週	Lesson 23 仮定法2		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		4週	Plus 10 仮定法		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		5週	Extra 1 否定1		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		6週	Extra 1 否定2		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		7週	Extra 3 無生物主語・名詞構文		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		8週	前期中間試験		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
	2ndQ	9週	Extra 4 話法1		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		10週	Extra 5 話法2		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		11週	Extra 6 接続詞1		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		12週	Extra 7 接続詞2		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		13週	Extra 8 前置詞		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		14週	Extra 9 疑問詞		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		15週	前期期末試験		習った単語、フレーズ文法知識を使って、演習問題が解ける。		
		16週	前期期末試験の答案返却と回答		前期末試験問題について自らの課題を認識し修正できる。		
後期	3rdQ	1週					

		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	提出課題		態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0